

馬術部通信 2025年1月号

目次

1. 早慶戦表彰式
2. 初乗り会
3. 祝勝会
4. 部員近状報告
5. 新入生紹介
6. 監督徒然草
7. コンプライアンス情報
8. 紅白戦のご案内
9. 今後の予定

1. 早慶戦表彰式

2024年12月22日に大隈講堂で行われました早慶戦表彰式にて、早稲田大学馬術部が表彰を受けました。以下に、表彰式に出席した3年船田のコメントを紹介いたします。



12月22日、大隈講堂にて総長招待早慶戦優勝部表彰式が開催されました。本年度の早慶戦で勝利を収めた体育各部が一堂に会し、表彰を受けました。馬術部からは、大藪監督、安藤会長、糸山前主将、中山前主務、そして私が出席いたしました。表彰式に今年も参加できるよう、今後とも精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

4年糸山と中山

2. 初乗り会

年が明け、稻門乗馬会会員の皆様を東伏見馬場にお迎えして1/5(日)に初乗り会が開催されました。多くの方々にご来場を頂きまして誠にありがとうございます。



今回は現役部員による供覧演技やフリー騎乗、曳馬体験、馬との触れ合いが行われました。供覧演技では、細野光(スポ2) & 稲彩による5課目Aの演技と中山颯慈(教育1) & 稲嵐による障害飛越が披露されました。また、フリー騎乗と併せて、曳馬体験や馬との触れ合いもご用意させていただきました。馬に騎乗したり、人参をあげたりするのは普段はあまり体験できないことであると思いますので、お楽しみいただけたなら幸いです。

本年度も早稲田大学馬術部へのご支援とご声援の程よろしくお願ひいたします。

3. 祝勝会

1月26日(日)、安藤会長、白藤理事長のお声掛けによりシャンクレール銀座店で祝勝会が開催されました。17名のOB・OGの皆様にご出席いただき、また、ご欠席の皆様も含め、たくさんのご祝儀を頂戴し、学生全員をご招待いただきました。誠にありがとうございました。

2024年度全日本学生馬術大会三種目総合準優勝、細野光が馬場馬術、総合馬術個人優勝など数々の好成績を皆様と一緒に祝いすることができとても嬉しかったです。

荒浪(2年)が作成した動画の音が中々繋がらずやきもきするシーンもありましたが音が出た時には歓声が上がり、素晴らしい映像に大きな拍手が沸き起こりました。

会の終盤には大きなケーキをご用意いただき、糸山前主将と細野による披露宴ながらのケーキ入刀が行われるなど温かい雰囲気に包まれて会は進行しました。



OB・OGの皆様からも励ましのお言葉をいただきました。そのお言葉を胸に2025年も、部員一丸となり、さらなる高みを目指して精進してまいります。今後とも、早稲田大学馬術部への変わらぬご支援とご声援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

4. 部員近況報告

明けましておめでとうございます。寒さ厳しき折いかがお過ごでどうか。国際教養学部三年の阿曾村里桜と申します。さて、世の大学三年生は就職活動に勤しんでいる時期だと思います。漏れなく私もその1人です。最近自己分析の一環として自分の過去について振り返ってみました。我ながらなかなか面白い人生を歩んできたなと思ったので少しご紹介しようと思います。2003年9月15日、阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝を果たした日に生まれました。幼稚園はバティスポーツ幼稚園に入園し、毎日体育館で鉄棒や跳び箱をして遊んでいました。冬は新潟で1週間のスキー合宿、年長さんになると富士山に登りました。富士山に登った時は辛すぎて、幼稚園児ながら人生の厳しさを悟りました。小学二年生の時、父の仕事の都合でアメリカに駐在していました。アルファベットの順番もわからない状態でしたので、初めは現地校ではなく学区外の日本人が多数在籍する特別クラスがある学校に通っていました。しかし、半年ほどたったある日「こんなんじゃ英語を覚えるわけがない」と母に言われ現地校への転校を宣言されました。母のスバルタ教育（？）のおかげで小学四年生で帰国する際には英検準二級を取得するまでに成長していました。また、アメリカ駐在中に馬に出会い、帰国してからは八王子乗馬クラブの方で高校三年生まで習い事として続けていました。中高は桐蔭学園高等学校に在籍し勉学に励んでまいりました。といっても私は提出物を出すのがとにかく苦手な生徒でした。なので、担任の先生に「あなたは3歩あるいて宿題を忘れるのだからニワトリ同然ね」と近年稀に見るブラックユーモアでよく怒られました（笑）。大学に進学し、大学では馬以外のことをやるんだ！と意気込んでいたものの気がついたら馬術部を見学していました。入部を渋る私に対して会うたびに、「入部したのか？今入部届をかけ！」と言ってくださった当時の監督の押しに負けたから入部したようにも思います。1年生の頃はとにかく同期が怖かったです。体育会気質の同期がたくさんいたおかげで、部活のいろはを彼女たちからたくさん教わりました。そして沢山怒られました。当時は怖すぎると思っていましたが、今となっては本当に感謝しています。また、コウソクコーナーとキャロットステーキスに出場したのはいい思い出です。夏の間、当時四年生だった熊田さんと当時の監督と毎日たくさん練習して臨んだ試合。1日目で落馬しました（笑）。2日目は無事帰ってこれましたが！結果はどうあれとても楽しい試合でした。2,3年生に上がってからはイリスと如月に乗らせていただき、沢山試合にも出させていただきました。その分辛いことも沢山あって、沢山泣きました。その度に隣で励ましてくれたのは同期のみんなでした。みんながいなからたらきっと乗り越えられてなかったと思います。それぞれの道に進んだ人もいますが、私にとっては永遠の同期です。三年生の秋にはコーナーが一年生の若松と四年生の黒森さんを乗せてキャロットステーキスに出場しました。私と違って2人は無事に帰ってきてくれて、本当に嬉しかったです。人生について振り返っていたはずなのにいつのまにか馬術部での思い出話になってしまいました。振り返ってみるとこの3年間、楽しいこと

よりも辛いことの方が多いかったです。ですが、おかげで人間的に大きく成長することができました。なにより、大切な同期や素敵なお嬢さん、可愛い後輩達、大好きな馬達に出会うことができて本当に良かったです。残り 1 年間、受けた恩を少しでもお返しできるようがんばります。

5. 新入生紹介



この度、馬術部は新たな新入部員を迎えることになりました。①名前、②出身校、③馬歴、④入部理由、⑤意気込みの順で紹介させていただきます。

- ① ライシャ シレガル
- ② Medan Independent School
- ③ 3 年
- ④ 私は馬と一緒に過ごすことがとても好きで、同じ趣味を持つ仲間たちと馬術を学びたかったからです。これからもずっと続けていきたいです。
- ⑤ 全力で練習し、チームに貢献します！

6. 監督徒然なるままに

昨年の 12 月 2 日、4 年生の中山明弥から連絡が入りました。

「ドゥタンジェロ（稻炭）が疝痛みたいで。注射した後、曳馬して様子を見ています。」

調馬索を指示したところ、硬いボロが少し出たものの馬房に戻すと寝てしまうとのこと。曳馬や調馬索を繰り返しましたが事態は改善されず、いつもお世話になっている大和高原動物診療所に連絡し来ていただくことにしました。夕方から獣医師の指示の下、様々な事を試みたものの状況は良くなりません。最終的に開腹手術をする必要があることが伝えられました。手術できる病院を紹介できるが、費用は 50 ~60 万掛かる。手術をしてもうまくいかない場合もあるが、どうするか決めて欲しいとのことでした。幸いな事に小田 OG と 4 年生の黒森が会計処理を明確にしてくれており、予算に余力があることが分かっていたため手術を決断しました。前日に引退したばかりの糸山に馬運車を運転してもらい、中山明、船田、細野が帯同してくれました。手術は、JRA 美浦トレーニングセンターの検疫厩舎エリアにある外部病院のための手術施設で行われました。手術を引き受けてくれた獣医師は偶然にも以前 JRA で働いていた後輩だったため状況を詳しく聞くことができました。開腹し、腸を取り出し、詰まっている部分を切除し、縫い合わせた上で腸をお腹に戻す手術が行われたそうです。真夜中に手術は終了して、ドゥタンジェロが目覚め

たのは3時を過ぎた頃でした。感染症などに対応するために入院が必要となり、近隣の休養牧場に約2週間滞在し、12月18日に東伏見に戻ってくることができました。

手術費用は約53万円でしたが、入院中の抗生物質、鎮静の静脈注射を毎日3回実施したため、これらの費用が約40万円、入院馬房代が約14万円掛かりることになり、最終的には100万円を超える費用が掛かりました。後輩の獣医師に確認したところこの様な手術の場合はこれくらいが相場だそうです。

2024年は会計処理が明確であり、その前年度の全日本学生出場に対するOB・OGの皆様の御寄付やJRAからの助成金により、繰越金に余裕があったため手術が可能となりました。手術施設も使わせていただく事ができましたが、本来競走馬のためのものなのでいつでも使えるとは思わないようになると後日確認の連絡がありました。現在、獣医大学で手術を受け入れていない状況を考えると、今後手術を行うことは費用面、施設面からも難しいと思っていた方が良いと思います。今回、私が部からお金を出せないと判断した場合には何人かの部員が親に借金をして費用を捻出しようと考えていてくれたそうです。気持ちは大変嬉しいですが、部員に借金させてまで手術を選択するということは難しいと思います。

つい先日、私が9月にオーストラリアで購買してきた競馬学校の教育用馬が疝痛から急変して亡くなりました。獣医が常駐し、いつでも手術を選択できる環境にあってもこういうことは起こり得ます。ちなみにドゥタンジェロも競馬学校にいた外国産馬です。

我々にできることは普段から馬達の様子を良く見て、体温、食欲、便、発汗、目つきなどの変化に気付くこと、冷やさないような手入れの仕方、馬服や扉、換気、飲み水の温度など適切な管理をしてあげること、運動を適宜実施し病気の予防に努めることくらいしかなく、でもそれによって命を救うことができる場合があることを強く認識して欲しいと思います。

また、会計をクリアにしておけばこの様な不慮の事態にも対応できる事が示されました。手術が必ずできるわけではありませんが、その他の事案にも対応できるよう本年も昨年同様の会計処理をお願いしたいと思います。

さて、そのドゥタンジェロ（稻炭）はすっかり元気になり、食欲もあります。曳馬から始めて最近は調馬索を行っており、2月からは徐々に騎乗を再開する予定です。紅白戦や六大学での活躍を期待しています。

7. コンプライアンス情報

私たちは、「早稲田大学教旨」に基づいて行動します。

- 「学問の独立」を本旨と為すを以て、之が自由討究を主とし、常に独創の研鑽に力め以て 世界の学問に神補せん事を期す

- 「学問の活用」を本旨と為すを以て学理を学理として研究すると共に之を実際に応用するの道を講し以て時世の進運に資せん事を期す
- 「模範国民の造就」を本旨と為すを以て個性を尊重し身家を発達し国家社会を利済し併せて広く世界に活動す可き人格を養成せん事を期す

以上の早稲田大学教旨に基づきながら、未成年飲酒禁止やハラスメント防止に努めております。

8. 紅白戦のご案内

2月の最終週には伝統の紅白戦合宿が行われます。3/2(日)には、1年生がこれまでの成果を披露する紅白戦が開戦致します。是非、当日は会場にてご声援を賜りますようお願い申し上げます。

【出場選手】

1年

植田大貴 人間科学部	只熊航大 文化構想学部
中山颯慈 教育学部	宮澤康治 文学部
山本禮 文学部	ライシャシレガル 基幹理工学部
若松ひなた 人間科学部	

【日時】

2/24(月)～ 紅白戦合宿開始

3/2(日) 紅白戦

8:30～ 馬場・障害馬術競技

12:00～ 閉会式・表彰式、懇親会

(タイムテーブルは仮予定となります。)

【場所】 早稲田大学馬術部東伏見馬場
(西部新宿線「東伏見駅」下車徒歩5分)

【会費】 3000円

<https://forms.gle/J7fHmRJgE1yKpwWQ8>

先日、紅白戦のご案内をメールにて配信させていただきました。添付のグーグルフォームにて、2/20(木)までにご出席をご連絡いただきます様お願いいたします。

9. 今後の予定

・2/7(金)～2/9(日)

第3回関東学生バレンタインホースショー、令和6年度関東学生馬術争覇戦

@JRA 馬事公苑

- 2/24 (日) ~3/1 (土) 紅白戦合宿 @東伏見馬場
- 3/2 (日) 紅白戦 @東伏見馬場

• 最近の馬術部通信は、ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

URL とパスワードは下記の通りです。

URL: <https://whrc1927.wixsite.com/waseda-equestrian>

「More」をクリックすると、「馬術部通信」という項目がございます。

パスワード:whrc1927

◆お問い合わせ◆

電話番号 042(467)5790

E-mail toumon.jyobakai@gmail.com

Web <https://whrc1927.wixsite.com/waseda-equestrian>

ご意見・ご要望をお待ちしています。

3 年 松谷理彩

2 年 加藤凱也

2 年 中島妃香留

1 年 只熊航大

1 年 若松ひなた